

LCC News Letter 3 2

同志社校友会大阪支部産官学部会

23 January 2013 (文責：北出 至)

Doshisha New Island Contest 2012

第九回「同志社大学ビジネスプランコンテスト」は去る平成25年1月12日(土)、室町キャンパス寒梅館ハーディホールに於いて行われました。私はLCCを代表し審査員として参加して参りましたが、簡単ながら、その時のご報告です。

今回は一次審査、二次審査を通して55チームが参加し、最終審査に5チームが残り、グランプリ、準グランプリ、オーディエンス賞、New Island賞が選ばれます。その中のNew Island賞を池田泉州銀行、南都銀行、そしてLCC代表の3人が選定する役目を委任されました。

また、優れたプランとそれを実現する技術を持つチームに与えられるNICT賞もありました。NICTとは、独立行政法人情報通信研究機構(National Institute of Information and Communication Technology)の略称だそうです。

最終審査委員には、株式会社エクス代表取締役抱厚志氏、シナジーマーケティング株式会社代表取締役社長谷井等氏、日本ベンチャーキャピタル株式会社奥原主一氏、株式会社セールスフォース・ドットコムシニアディレクター倉林陽氏が、名を連れていました。

グランプリ(賞金30万円)を同志社大学、大阪大学の学生で構成された「WONDER BEE」チームが獲得しました。日本のものづくり企業の商品開発・製造、資金調達、販路開拓、顧客獲得支援を目的とした「Made in Japan 発信クラウドファンディングサイト」の開設プランが(少々異論も出ましたが)最も審査基準に合致していたのが表彰理由でした。準グランプリ(賞金10万円)には喫煙者用アプリを開発した「モクとも」が選ばれました。



New Island賞(盾を授与)には世界中に笑顔をお届けることをモットーに明るく活動続ける「Smile Color」に与えられました。ホテルや旅館などから使用済みの固形石鹼を回収し、消毒・加工した後、石鹼を使用した正しい手洗いが普及していない途上国の人々に安価で販売寄付する事業内容です。

残念ながら選にもれたのはクーポン検索アプリケーションを提案した「ピクボン」と家族からの食品仕送り品をカミングアウトするコミュニティサイトの「ローカルBOX」の2チームでした。